

## 令和 4 年度 第 2 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和 4 年 8 月 5 日 (金) 14:00～16:35	
場 所	WEB 会議 / 議長 琉球大学医学部 管理棟 3 階 大会議室	
構 成 員	37 名 (出席者 30)	
	(出席者)	
1 号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員	(那覇市立病院長)	外間 浩
3 号委員	(県立宮古病院長)	岸本 信三
	(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4 号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好
5 号委員	(沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子
7 号委員	(沖縄県看護協会会長)	平良 孝美
10 号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
12 号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生 (代理出席: 有賀 拓郎)
13 号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳
15 号委員	(琉大事務部長)	加藤 善一
16 号委員	(県立中部病院副病院長)	前田 純子
	(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇 (代理出席: 吉田 幸生)
	(那覇市立病院副院長)	宮里 浩
	(那覇市立病院がん看護専門看護師)	東恩納 貴子
17 号委員	(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
	(県立宮古病院副院長)	新崎 博美
	(県立八重山病院消化器内科部長)	菊池 馨
	(県立八重山病院副院長)	石田 浩子
	(北部地区医師会病院副院長)	柴山 順子
	(北部地区医師会病院看護部長)	我如古 春美
18 号委員	(NPO 乳がん患者の会 ぴんく・ばんさあ代表)	与儀 淑恵
	(やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)会長)	田盛 亜紀子
	(サバイバーナースの会「ピアナース」代表)	上原 弘美
	(パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	島袋 百代
19 号委員	(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
	(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
20 号委員	(琉大病院病理部長)	和田 直樹
	(那覇市立病院放射線科部長)	足立 源樹
	(県立中部病院放射線科副部長)	戸板 孝文
	(欠席者)	
2 号委員	(県立中部病院長)	玉城 和光
3 号委員	(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
6 号委員	(沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子
9 号委員	(沖縄県保健医療部長)	糸数 公
11 号委員	(琉大がんセンター運営委員会委員長)	青木 陽一
14 号委員	(琉大看護部長)	眞栄城 智子
19 号委員	(琉球新報取締役編集局長)	島 洋子
	(陪席者)	
	沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	新垣 真太郎
	(以下、Zoom 傍聴申込)	
	株式会社ダイコー沖縄病院、ハートライフ病院、ほか	

## 資料確認等

1. 令和4年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7月4日開催)
2. 令和4年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(5月13日開催)
3. 令和4年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事録(5月13日開催)
4. 協議会・幹事会・部会委員について
5. 令和4年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員(10号委員)から資料及び議事要旨等について確認があった。

## 有識者報告事項

### 1. 埴岡委員報告

埴岡委員(19号委員)から資料6に基づき、「都道府県がん対策推進計画における中間評価の動向」について報告があった。

「①国・医療計画検討会におけるロジックモデルに関する議論」について、第8次医療計画においてもロジックモデルが大きく普及することが予想されるとの説明があった。

「②都道府県循環器病対策推進計画におけるロジックモデル導入状況」について、47都道府県のロジックモデルが策定、公表されており、滋賀県、熊本県、沖縄県が循環器病計画の好事例として挙げられているとの報告があった。都道府県循環器病対策推進計画において、他の計画ではないロジックモデル使用の進展がみられたとの説明があった。

都道府県がん対策推進計画の中間評価の動向について、沖縄県はコロナの影響で遅れており、まだ中間評価をしていないとの説明があった。中間評価報告書等が確認できたのは17県あり、その中で好事例県とそうでない県をピックアップし、比較・評価を行った。中間評価に質の差があるため、均てん化することが課題である。

#### (主な確認事項)

Q.天野委員:沖縄県がん診療連携協議会では沖縄県内のがん患者会の意見をしっかり聞いていただいているが、加えて、関連部会で基本計画等の議論をする際に、素案の段階から沖縄県のがん患者会に参加していただきたい。また、実際の患者やご家族の方の意見を反映させていただきたい。

A.大屋議長:方向性としては沖縄県がん診療連携協議会が目指しているところなので、その方向で進めていきたい。

Q.安里委員:脳卒中・循環器病対策とがん対策で、ロジックモデルの導入状況に差があるのはどのような理由があるのか。

A.大屋議長:脳卒中・循環器病はある程度、急性期、リハビリ、地域に戻るといった流れが、計画を立てなくても医療の中である程度行われており、計画を立てやすいのではないかと。対してがんでは様々ながん種があり、罹患する患者の年齢層や治療法も幅広く、なかなか対策を策定、取りまとめるのが難しいからではないかと。

Q.足立委員:がん対策に対する中間評価について、対策をしっかりやっている県とやっていない県で差が開いているが、中間評価が高い県は、どこが対策を立てるのかの責任の所在がはっきりしているのではないかと。

A.埴岡委員:客観的な分析等があるわけではないが、評価が高い奈良県や島根県は県庁の事務局がたたき台を作り、アンケートや検討会の取りまとめを行っている。沖縄県では診療連携協議会と県の計画が直接つながっていないため、うまく連携がとれていないのではないかと。

### 2. 天野委員報告

天野委員(19号委員)から、資料7に基づき、がんに係る拠点病院等の指定要件の見直しについて報告があった。

大きな見直し論点として下記のものがある。

- ・地域がん診療連携拠点病院(高度型)について、発展的に解消させることとなった。

- ・都道府県に対し、次期医療計画の改訂にあたり、空白の医療圏の患者の受療動向等を勘案し、実状や人口減少等の将来のニーズに即したがんの医療圏の再検討を促す。
- ・小児がん拠点病院について、地域の小児がんの集約を担う施設の類型分けを行った。
- ・緩和ケア外来を設置すること。
- ・患者会等の求めに応じてピア・サポートの質向上に対する支援等に取り組むこと。
- ・がん相談支援センターの体制を整備すること。

## **審議事項**

### **1. 今年度の協議会の重点活動方針について**

増田委員（10号委員）から資料9に基づき説明があった。

協議会委員および専門部会構成員から約20個の意見があった。それぞれ対応する専門部会があるのですべて検討課題とすることとしたが、本協議会でどの項目を重点活動方針とするか審議をお願いしたい。

天野委員より、膵臓がんは難治性のため、早期発見の取組は沖縄県でもするべきではないかとの意見があった。岸本委員より、膵臓がんの早期診断プロジェクトである尾道方式に関して、宮古病院の新里先生が尾道方式を学び、宮古島で活用しているとの報告があった。

島袋委員より、膵臓がんの早期発見率について、沖縄県がワースト1のため協議会で取り上げてはどうかとの意見があった。

安里委員より、30～64歳の働き盛り世代の健康づくり及び死亡率改善について、がんに関しては、大腸がん、子宮がん、乳がん、肺がんで亡くなる方が多いため、どのように改善すればよいか協議会で検討出来ないかとの意見があった。

埴岡委員より、沖縄県がワーストである等の課題が大きいものから取り組んではどうか、また、患者にとっての機会損失や地域間での不公平があればそれを是正するための取組をして欲しい、そして、問題点を改善するために、いつまでに、どこが対応するか等を決めることが重要ではないかとの意見があった。

### **2. 医療者調査について**

増田委員（10号委員）から資料10に基づき説明があった。アンケート項目について、あと5つほど項目を追加することが可能なため、加えたい項目があれば、がん協議会事務局まで連絡するよう依頼があった。

埴岡委員より、個別施設の情報をどう使うか、どうフィードバックするかとの質問があった。増田委員より二次医療圏ごと及び大口の病院の情報については、原則公開することを検討しているとの発言があった。

上原委員より、質問の回答項目に自由記載欄を設けることを検討して欲しいとの意見があった。

### **3. 「島外の医療施設における治療等の必要性に係る意見書」の定額化について**

田盛委員（18号委員）から資料11に基づき説明があった。同委員より沖縄県がん診療連携協議会から各病院に要望していただけないかとの意見があった。

増田委員より、幹事会の意見として、拠点病院だけの問題ではないため、要望書を沖縄県に提出していただき、沖縄県から各病院へ依頼していただけないかとの説明があった。

上原委員より、離島の渡航費助成金の増額について沖縄県での進捗状況について確認があった。

沖縄県から後日確認して回答するとの説明があった。

（沖縄県から後日回答）

○県では、事業の充実、改善に向けて、毎年、市町村との意見交換会、要望調査及び実地検査を実施している。

○今年度の「市町村との意見交換会」については、今年の9月から10月に開催予定となっており（令和2・3年度はコロナで開催がなかった）、こちらの会議において、患者会から要請文の内容を市町村へ周知する予定となっている。

#### 4. その他

増田委員（10号委員）より、第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会案）を作成することについて説明があり、全会一致で了承された。

### 報告事項

#### 1. がん検診について

沖縄県健康長寿課新垣氏から、資料12に基づき報告があった。

#### 2. 指定要件の変更について

増田委員（10号委員）から資料13に基づき報告があった。

#### 3. 北部、宮古及び八重山医療圏における各種がんに対する治療の現状のWeb上の公開について

増田委員（10号委員）から資料14に基づき報告があった。

#### 4. 患者会よりの報告

##### （1）田盛委員報告

田盛委員（18号委員）から資料15-(1)に基づき、やいまゆんたく会（八重山のがん患者を支援する会）の活動について報告があった。

##### （2）島袋委員報告

島袋委員（18号委員）から資料15-(2)に基づき、「オンライン患者会開催」と「膵臓がん市民公開講座開催」、「膵臓がん早期発見セミナーシリーズ2022」の報告があった。

#### 5. がん教育について

報告なし

#### 6. 大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について

増田委員（10号委員）から資料16に基づき、「大腸がん相談室設置要項」について報告があった。

#### 7. がんゲノム医療について

増田委員（10号委員）から資料17に基づき、琉球大学病院「がんゲノム医療外来」への紹介方法について報告があった。

（以下については、紙面報告となった）

#### 8. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

#### 9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

#### 10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

#### 11. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 第79回がん対策推進協議会
- (2) 第80回がん対策推進協議会
- (3) 第8回がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ
- (4) 第9回がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ
- (5) 第5回がんの緩和ケアに係る部会
- (6) 第6回がんとの共生のあり方に関する検討会
- (7) 第2回小児がん拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ
- (8) 第35回がん検診のあり方に関する検討会
- (9) 第15回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

#### 12. その他（特になし）

(以下については、紙面報告となった)

**部会報告事項**

1. 医療部会
2. 緩和ケア・在宅医療部会
3. 小児・AYA部会
4. 離島・へき地部会
5. 情報提供・相談支援部会
6. ベンチマーク部会

以上